

Dell Precision 3540

セットアップと仕様ガイド



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: コンピュータのセットアップ	5
章 2: Windows 用の USB 回復ドライブの作成	7
章 3: シャーシの概要	8
ディスプレイビュー.....	8
左面図.....	8
右面図.....	8
パームレストの図.....	8
底面図.....	8
キーボードのショートカット.....	9
章 4: 技術仕様	10
システム情報.....	10
プロセッサ.....	11
メモリ.....	11
ストレージ.....	12
システム基板のコネクタ.....	12
メディアカードリーダー.....	12
オーディオ.....	12
ビデオカード.....	13
カメラ.....	13
通信.....	14
ワイヤレス.....	14
ポートとコネクタ.....	14
ディスプレイ.....	15
キーボード.....	15
タッチパッド.....	16
指紋認証リーダー (オプション).....	16
オペレーティングシステム.....	17
バッテリー.....	17
電源アダプタ.....	18
センサーおよびコントロールの仕様.....	18
寸法と重量.....	18
コンピュータ環境.....	19
セキュリティ.....	19
セキュリティソフトウェア.....	20
章 5: ソフトウェア	21
Windows ドライバのダウンロード.....	21
章 6: BIOS セットアップ	22
ブートメニュー.....	22
BIOS の概要.....	22

BIOS セットアッププログラムの起動.....	23
ナビゲーションキー.....	23
ワン タイム ブート メニュー.....	23
セットアップユーティリティのオプション.....	23
一般オプション.....	24
システム情報.....	24
ビデオ.....	25
セキュリティ.....	25
Secure Boot (安全起動)	26
インテルソフトウェア ガード エクステンションズ.....	27
パフォーマンス.....	27
電力管理.....	28
POST Behavior (POST 動作)	29
Virtualization Support (仮想化サポート)	30
ワイヤレス.....	30
メンテナンス画面.....	30
システムログ.....	31
SupportAssist システムの解決策.....	31
BIOS のアップデート.....	31
Windows での BIOS のアップデート.....	31
Linux および Ubuntu での BIOS のアップデート.....	32
Windows の USB ドライブを使用した BIOS のアップデート.....	32
F12 ワンタイム ブート メニューからの BIOS のアップデート.....	32
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	33
システム セットアップパスワードの割り当て.....	33
既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更.....	34
BIOS (システム セットアップ) パスワードとシステム パスワードのクリア.....	34
章 7: ヘルプ.....	35
デルへのお問い合わせ.....	35

コンピュータのセットアップ

1. 電源アダプタを接続して、電源ボタンを押します。

メモ: バッテリー電源を節約するために、バッテリーが省電力モードになることがあります。



2. Windows システムのセットアップを完了します。

画面の指示に従ってセットアップを完了します。セットアップの際には、以下のことをお勧めします。

- ネットワークに接続して、Windows アップデートが行えるようにします。
メモ: セキュアなワイヤレスネットワークに接続する場合、プロンプトが表示されたらワイヤレスネットワークアクセス用のパスワードを入力してください。
- インターネットに接続されたら、Microsoft アカウントでサインインするか、またはアカウントを作成します。インターネットに接続されていない場合は、オフラインのアカウントを作成します。
- Support and Protection (サポートおよび保護) の画面で、連絡先の詳細を入力します。

3. Windows スタートメニューから Dell アプリを見つけて使用します。 — 推奨

表 1. Dell アプリを見つける






Dell アプリ	詳細
	Dell 製品の登録 デルに、お使いのコンピュータを登録します。
	Dell ヘルプとサポート コンピュータのヘルプとサポートにアクセスします。

表 1. Dell アプリを見つける (続き)

Dell アプリ	詳細
	<p>SupportAssist</p> <p>コンピュータのハードウェアとソフトウェアの状態をプロアクティブにチェックします。</p> <p>i メモ: SupportAssist 内で保証有効期限をクリックすることで、保証の更新またはアップグレードを行えます。</p>
	<p>Dell アップデート</p> <p>重要な修正プログラムおよびデバイス ドライバが提供された場合に、お使いのコンピューターを更新します。</p>
	<p>Dell Digital Delivery</p> <p>さまざまなソフトウェア アプリケーション (購入済みだがブライインストールされていないソフトウェアなど) を、お使いのコンピューターにダウンロードします。</p>

4. Windows 用のリカバリドライブを作成します。

i **メモ:** Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成することが推奨されています。

詳細に関しては、「[Windows 用の USB 回復ドライブの作成](#)」を参照してください。

Windows 用の USB 回復ドライブの作成

Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成します。回復ドライブを作成するには、容量が少なくとも 16 GB で空の USB フラッシュドライブが必要です。

メモ: このプロセスの完了までに、最大 1 時間かかる場合があります。

メモ: 次の手順は、インストールされている Windows のバージョンによって異なることがあります。最新の説明については、[Microsoft のサポートサイト](#)を参照してください。

1. お使いのコンピュータに USB フラッシュドライブを接続します。
2. Windows サーチに **回復** と入力します。
3. 検索結果で、[**回復ドライブの作成**] をクリックします。
[**ユーザーアカウント制御**] ウィンドウが表示されます。
4. [**はい**] をクリックして続行します。
[**回復ドライブ**] ウィンドウが表示されます。
5. [**システムファイルを回復ドライブにバックアップします**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。
6. [**USB フラッシュドライブ**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。
USB フラッシュドライブ内のデータがすべて削除されることを示すメッセージが表示されます。
7. [**作成**] をクリックします。
8. [**完了**] をクリックします。
USB 回復ドライブを使用して Windows を再インストールする方法の詳細については、www.dell.com/support/manuals にあるお使いの製品の『**サービス マニュアル**』で、「**トラブルシューティング**」の項を参照してください。

シャーシの概要

トピック：

- ディスプレイビュー
- 左面図
- 右面図
- パームレストの図
- 底面図
- キーボードのショートカット

ディスプレイビュー

1. マイク
2. カメラ用シャッター
3. カメラ
4. カメラステータスライト
5. マイク
6. LCD パネル
7. LED アクティビティライト

左面図

1. 電源コネクタポート
2. USB タイプ C 3.1 Gen 2 ポート (DisplayPort/Thunderbolt 対応)
3. USB 3.1 Gen 1 ポート (PowerShare 対応)
4. スマート カード リーダー (オプション)

右面図

1. microSD カードリーダー
2. ヘッドセット/マイク ポート
3. USB 3.1 Gen 1 ポート
4. USB 3.1 Gen 1 ポート
5. HDMI ポート
6. ネットワークポート
7. くさび形ロックスロット

パームレストの図

1. 電源ボタン (オプションの指紋認証リーダー内蔵)
2. キーボード
3. 非接触型スマート カード リーダー
4. タッチパッド
5. ポイントスティック (オプション)

底面図

1. ファン通気孔
2. サービスタグ
3. スピーカー

キーボードのショートカット

メモ: キーボードの文字は、キーボードの言語設定によって異なる場合があります。ショートカットに使用するキーは、すべての言語設定で同じです。

表 2. キーボードのショートカットのリスト

キー	プライマリ動作	セカンダリ動作 (Fn+キー)
Fn+Esc	戻る	Fn キーロックの切り替え
Fn+F1	消音	F1 の動作
Fn+F2	音量を下げる	F2 の動作
Fn+F3	音量を上げる	F3 の動作
Fn+F4	マイクを消音する	F4 の動作
Fn+F5	キーボード バックライトをオン/オフにする	F5 の動作
Fn+F6	輝度を下げる	F6 の動作
Fn+F7	輝度を上げる	F7 の動作
Fn+F8	外部ディスプレイに切り替え	F8 の動作
Fn+F10	プリントスクリーン	F10 の動作
Fn+F11	ホーム	F11 の動作
Fn+F12	終了	F12 の動作
Fn+Ctrl	アプリケーションメニューを開く	--

技術仕様

メモ: 提供されるものは地域により異なる場合があります。以下の仕様は、お客様のコンピューターの出荷に際して法律で定められた項目のみ記載しています。お使いのコンピューターの構成の詳細については、Windows オペレーティングシステムのヘルプとサポートにアクセスして、コンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

トピック：

- システム情報
- プロセッサ
- メモリ
- ストレージ
- システム基板のコネクタ
- メディアカードリーダー
- オーディオ
- ビデオカード
- カメラ
- 通信
- ワイヤレス
- ポートとコネクタ
- ディスプレイ
- キーボード
- タッチパッド
- 指紋認証リーダー（オプション）
- オペレーティングシステム
- バッテリー
- 電源アダプタ
- センサーおよびコントロールの仕様
- 寸法と重量
- コンピュータ環境
- セキュリティ
- セキュリティソフトウェア

システム情報

表 3. システム情報

特長	仕様
チップセット	統合プロセッサ
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	32 MB
PCIe バス	Gen3 まで
外付けバスの周波数	最大 8 GT/秒

プロセッサ

① **メモ:** プロセッサ番号は、パフォーマンスの尺度ではありません。プロセッサの可用性は変わることがあり、地域や国によって異なる場合があります。

表 4. プロセッサの仕様

タイプ	UMA グラフィックス	専用グラフィックス カード
インテル Core i7-8665U プロセッサ、4 コア、8MB キャッシュ、1.9GHz、4.8GHz Turbo、15W、vPro	インテル UHD グラフィックス 620	AMD Radeon Pro WX2100
インテル Core i7-8565 プロセッサ、4 コア、8MB キャッシュ、1.8GHz、4.6GHz Turbo、15W	インテル UHD グラフィックス 620	AMD Radeon Pro WX2100
インテル Core i5-8265U プロセッサ、4 コア、6MB キャッシュ、1.6GHz、3.9GHz Turbo、15W	インテル UHD グラフィックス 620	AMD Radeon Pro WX2100
インテル Core i5-8365U プロセッサ、4 コア、6MB キャッシュ、1.6GHz、4.1GHz Turbo、15W、vPro	インテル UHD グラフィックス 620	AMD Radeon Pro WX2100

メモリ

表 5. メモリの仕様

特長	仕様
最低メモリ構成	4 GB
最大メモリ構成	32 GB
スロット数	SoDIMM スロット x 2
スロットごとにサポートされる最大メモリ	16 GB
メモリオプション	<ul style="list-style-type: none">● 4 GB (1 x 4 GB)● 8 GB (2 x 4 GB)● 8 GB (1 x 8 GB)● 16 GB (2 x 8 GB)● 16 GB (1 x 16 GB)● 32 GB (2 x 16 GB)
タイプ	デュアルチャネル DDR4
速度	2666 MHz 非 ECC SDRAM(インテル第 8 世代プロセッサでは 2400 MHz で動作)

ストレージ

表 6. ストレージの仕様

タイプ	フォームファクタ	インターフェース	容量
PCIe NVMe ソリッドステートドライブ	M.2 SSD 2280	PCIe Gen 3x4 NVMe、最大 32 Gbps	最大 2 TB
PCIe NVMe ソリッドステートドライブ	M.2 2230 SSD	PCIe Gen 3x2 NVMe、最大 32 Gbps	最大 256 GB
SATA ソリッドステートドライブ	M.2 2280 SSD	SATA	最大 512 GB
SED PCIe ソリッドステートドライブ	M.2 2280 SSD	SED PCIe	最大 512 GB
HDD	2.5 インチ	SATA	<ul style="list-style-type: none">最大 1 TB (5400 RPM)最大 2 TB (7200 RPM)

システム基板のコネクタ

表 7. システム基板のコネクタ

特長	仕様
M.2 コネクタ	<ul style="list-style-type: none">1 x M.2 2230 Key-E コネクタ1 x M.2 2280 Key-E コネクタ1 x M.2 3042 Key-B コネクタ

メディア カードリーダー

表 8. メディアカードリーダーの仕様

特長	仕様
タイプ	MicroSD カードリーダー スロット MicroSD カード

オーディオ

表 9. オーディオの仕様

特長	仕様
コントローラ	Realtek ALC3254 (Waves MaxxAudio Pro 搭載)
ステレオ変換	24 ビット DAC (デジタル/アナログ変換) および ADC (アナログ/デジタル変換)
タイプ	HD オーディオ
スピーカー	2 台
インターフェース	内部 : <ul style="list-style-type: none">インテル HDA (ハイデフィニション オーディオ)

表 9. オーディオの仕様 (続き)

特長	仕様
	外部 : <ul style="list-style-type: none"> 7.1 チャンネル出力 (HDMI 経由) カメラ モジュールのデジタル マイク入力 ヘッドセット コンボ ジャック (ステレオ ヘッドフォン/マイク入力)
アンプ内蔵スピーカー	ALC3254 (クラス D 2 W) に内蔵
外付けボリューム コントロール	メディアコントロールショートカットキー
スピーカー出力 :	平均 : 2 W ピーク : 2.5 W
マイク	デジタルアレイマイク

ビデオカード

表 10. ビデオ カードの仕様

コントローラ	タイプ	CPU の依存関係	グラフィックスメモリタイプ	容量	外部ディスプレイ対応	最大解像度
インテル UHD グラフィックス 620	UMA	<ul style="list-style-type: none"> インテル Core i7-8665U CPU (vPro) インテル Core i7-8565U CPU インテル Core i5-8365U CPU インテル Core i5-8265U CPU 	内蔵	2 GB	HDMI 1.4b ポート	1920 x 1200@60 Hz
AMD Radeon Pro WX2100	ディスクリート	NA	GDDR5	2 GB	NA	NA

カメラ

表 11. カメラの仕様

特長	仕様
カメラのタイプ	RGB、HD 固定フォーカス
IR カメラ	6 mm IR カメラ (オプション)
解像度	静止画像 : HD 解像度 (1280 x 720) 動画 : HD 解像度 (1280 x 720) (30 fps)

表 11. カメラの仕様 (続き)

特長	仕様
対角視野角	IR : 87 度 RGB : 78.6 度
センサーのタイプ	CMOS センサーテクノロジー

📌 **メモ:** RGB + IR カメラは Windows Hello アプリケーション専用であり、他のアプリケーションでは使用できません。

通信

表 12. 通信の仕様

特長	仕様
ネットワークアダプター	内蔵接続 I219-V 10/100/1000 Mb/s Ethernet (RJ-45) <ul style="list-style-type: none"> ● 第 8 世代インテル® Core i5-8365U ● 第 8 世代インテル® Core i7-8665U 内蔵接続 I217-LM 10/100/1000 Mb/s Ethernet (RJ-45) <ul style="list-style-type: none"> ● 第 8 世代インテル® Core i3-8145U ● 第 8 世代インテル® Core i5-8265U

ワイヤレス

表 13. ワイヤレスの仕様

仕様
インテル Dual Band Wireless AC 9560 (802.11ac) 2x2 + Bluetooth 5.0
Qualcomm QCA61x4A 802.11ac デュアルバンド (2x2) ワイヤレス アダプタ + Bluetooth 4.2
インテル Wi-Fi 6 AX200 2x2.11ax 160 MHz + Bluetooth 5.0 (オプション)

ポートとコネクタ

表 14. ポートとコネクタ

特長	仕様
メモリカードリーダー	● microSD カードリーダー x 1
USB	● USB 3.1 Gen 1 (Type-A) ポート x 1 ● USB Type-C 3.1 Gen 2 ポート x 1 (DisplayPort/Thunderbolt 3 対応)(オプション)
セキュリティ	Noble Wedge ロック スロット
オーディオ	ヘッドセット (ヘッドフォンとマイクのコンボ) ポート (1)
ビデオ	HDMI 1.4b ポート x 1 (最大 4k@30 Hz をサポート)
ネットワークアダプター	RJ-45、10/100/1000、LED インジケータ付き

ディスプレイ

表 15. ディスプレイの仕様

特長	仕様
タイプ	15.6 インチ反射防止、HD (1366 x 768) WLED、16 : 9 15.6 インチ反射防止、FHD (1920 x 1080) WLED、16 : 9 (オプション)
高さ (アクティブ エリア)	193.6 mm (76.22 インチ)
幅 (アクティブ エリア)	344.2 mm (135.51 インチ)
対角線	394.91 mm (15.55 インチ)
PPI (1 インチあたりの画素数)	100 141 (オプション)
コントラスト率	500 : 1 (Typ.) 700 : 1 (Typ.) (オプション)
明るさ/輝度 (標準)	220 ニット 300 ニット (オプション)
リフレッシュレート	60 Hz
水平可視角度 (最小)	+/- 40 度 +/- 80 度 (オプション)
垂直可視角度 (最小)	上/下 10/30 度 +/- 80 度 (オプション)
電力消費量 (最大)	4.2 W 6.2 W (オプション)

キーボード

表 16. キーボードの仕様

特長	仕様
キーの数	<ul style="list-style-type: none">● 102 (米国およびカナダ)● 103 (英国)● 106 (日本)
サイズ	フルサイズ <ul style="list-style-type: none">● X = 18.6 mm (0.73 インチ) キー ピッチ● Y = 19.05 mm (0.75 インチ) キー ピッチ
バックライト付きキーボード	オプション (バックライトおよびバックライトなし)
レイアウト	QWERTY

タッチパッド

表 17. タッチパッドの仕様

特長	仕様
解像度	1221 x 661
寸法	<ul style="list-style-type: none">幅 : 101.7 mm (4.00 インチ)高さ : 55.2 mm (2.17 インチ)
マルチタッチ	5 本指マルチタッチ対応 i メモ: Windows 10 のタッチパッド ジェスチャの詳細については、support.microsoft.com で Microsoft サポート技術情報の記事 4027871 を参照してください。

表 18. 対応ジェスチャー

対応ジェスチャー	Windows 10
カーソルの移動	対応
クリック/タップ	対応
クリックしてドラッグ	対応
2 本指でスクロール	対応
2 本指でピンチ/ズーム	対応
2 本指でタップ (右クリック)	対応
3 本指でタップ (Cortana の呼び出し)	対応
3 本指で上にスワイプ (開いているウィンドウをすべて表示)	対応
3 本指で下にスワイプ (デスクトップの表示)	対応
3 本指で左右にスワイプ (開いているウィンドウの切り替え)	対応
4 本指でタップ (アクション センターの呼び出し)	対応
4 本指で左右にスワイプ (仮想デスクトップの切り替え)	対応

指紋認証リーダー (オプション)

表 19. 指紋リーダーの仕様

特長	仕様
タイプ	FPR 搭載電源ボタン FPR 搭載パームレスト
センサーテクノロジー	容量式
センサーの解像度	363 PPI 508 DPI
センサー領域	直径 : 10 mm 12.8 mm x 18 mm

オペレーティングシステム

表 20. オペレーティングシステム

特長	仕様
サポートされているオペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> Windows 10 Home (64 ビット) Windows 10 Professional (64 ビット) Ubuntu 18.04 LTS (64 ビット) Red Hat 7.5

バッテリー

表 21. バッテリー

特長	仕様					
タイプ	3 セル リチウムイオン (42 WHr) ExpressCharge		3 セル リチウムイオン (51 WHr) ExpressCharge		4 セル リチウムイオン (68 WHr) ExpressCharge	
寸法	幅	95.9 mm(3.78 インチ)	幅	95.9 mm(3.78 インチ)	幅	95.9 mm(3.78 インチ)
	奥行き	181 mm(7.13 インチ)	奥行き	181 mm(7.13 インチ)	奥行き	233 mm (9.17 インチ)
	高さ	7.05 mm(0.28 インチ)	高さ	7.05 mm(0.28 インチ)	高さ	7.05 mm(0.28 インチ)
重量 (最大)	200 g (0.44 lb)		250 g (0.55 lb)		340 g (0.75 ポンド)	
電圧	11.40 VDC		11.40 VDC		7.60 VDC	
寿命	300 サイクル (充電 / 放電)		300 サイクル (充電 / 放電)		300 サイクル (放電 / 充電) (標準パック) 1,000 サイクル (放電 / 充電) (LCL パック)	
コンピュータ非起動時の充電時間 (概算)	標準充電	0°C ~ 50°C : 4 時間	標準充電	0°C ~ 50°C : 4 時間	標準充電	0°C ~ 50°C : 4 時間
	Express Charge	0°C ~ 15°C : 4 時間 16°C ~ 45°C : 2 時間 46°C ~ 50°C : 3 時間	Express Charge	0°C ~ 15°C : 4 時間 16°C ~ 45°C : 2 時間 46°C ~ 50°C : 3 時間	Express Charge	0°C ~ 15°C : 4 時間 16°C ~ 45°C : 2 時間 46°C ~ 50°C : 3 時間
動作時間	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。		バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。		バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	
温度範囲: 動作時	充電 : 0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F) 放電 : 0°C ~ 60°C (32°F ~ 139°F)		充電 : 0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F) 放電 : 0°C ~ 60°C (32°F ~ 139°F)		充電 : 0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F) 放電 : 0°C ~ 60°C (32°F ~ 139°F)	
温度範囲: 保管時	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)		-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)		-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)	

表 21. バッテリー（続き）

特長	仕様		
コイン型電池	CR-2032	CR-2032	CR-2032

電源アダプタ

表 22. 電源アダプタの仕様

特長	仕様	
タイプ	E5 65 W	E5 90 W
入力電圧	100 ~ 240 VAC	100 ~ 240 VAC
入力電流（最大）	1.5 A	1.6 A
アダプタのサイズ	寸法 インチ：0.87 x 2.60 x 4.17 ミリ：22 x 66 x 106	寸法 インチ：0.87 x 2.60 x 5.12 ミリ：22 x 66 x 130
バレル	7.4 mm	7.4 mm
重量	0.23 kg (0.51 ポンド)	0.32 kg (0.70 ポンド)
入力周波数	50 ~ 60 Hz	50 ~ 60 Hz
出力電流	3.34 A (連続稼働時)	4.62 A
定格出力電圧	19.5 VDC	19.5 VDC
温度範囲（動作時）	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
温度範囲（非動作時）	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)

センサーおよびコントロールの仕様

表 23. センサーおよびコントロールの仕様

仕様
1. マザーボード上の落下防止センサー
2. ホール効果センサー(蓋が閉じているときに検知)

寸法と重量

表 24. 寸法と重量

特長	仕様
高さ	前面：20.35 mm (0.80 インチ) 背面：22.00 mm (0.866 インチ)
幅	359.1 mm (14.137 インチ)

表 24. 寸法と重量 (続き)

特長	仕様
奥行き	236.25 mm (9.301 インチ)
重量	1.83 kg (4.04 lb)

コンピュータ環境

空気汚染物質レベル : G1 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

表 25. コンピュータ環境

	動作時	ストレージ
温度範囲	0 ~ 35°C (32 ~ 95°F)	-40°C ~ 65 °C (-40°F ~ 149°F)
相対湿度 (最大)	10% ~ 80% (結露しないこと) ① メモ: 最大露点温度 = 26°C	0 ~ 95 % (結露しないこと) ① メモ: 最大露点温度 = 33°C
振動 (最大)	0.26 GRMS	1.37 GRMS
衝撃 (最大)	105 G †	40 G ‡
高度 (最大)	-15.2 m ~ 3048 m (-50 フィート ~ 10,000 フィート)	-15.2 m ~ 10,668 m (-50 フィート ~ 35,000 フィート)

* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。

† ハードドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

‡ ハードドライブヘッドが停止位置にある時に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

セキュリティ

表 26. セキュリティ

特長	仕様
TPM (Trusted Platform Module) 2.0	システム ボード内蔵
ファームウェア TPM	オプション
Windows Hello のサポート	有、オプションの指紋認証リーダー内蔵電源ボタン オプションの IR カメラ
ケーブル ロック	ウェッジ型ロック
Dell スマートカード キーボード	オプション
TPM の FIPS 140-2 認証	有
ControlVault 3 による高度な認証 (FIPS 140-2 レベル 3 認証に対応)	有、FPR、SC、および CSC/NFC 用
指紋認証リーダーのみ	電源ボタンに内蔵のタッチ式指紋認証リーダー (ControlVault 3 に接続)
接触型スマート カードおよび ControlVault 3	FIPS 201 スマート カード リーダー認証/SIPR

セキュリティ ソフトウェア

表 27. セキュリティ ソフトウェアの仕様

特長	仕様
Dell Endpoint Security Suite Enterprise	オプション
ソフトウェアの機能計画/サイクル リストに基づく Latitude セキュリティ ソフトウェア	非接触スマート カードは Broadcom により有効化されています。BRCM は、CDF を介してコンパニオン デバイス アプリケーションを作成します。これにより、顧客は非接触スマート カードを使用してオペレーティング システムに認証し、Windows Hello と連携できます。
D-Pedigree (安全なサプライ チェーン機能)・製品の安全なサプライ チェーンの提供により、BIOS イメージの整合性、加工流通過程管理、部品のトレーサビリティに対応します。安全なサプライ チェーンの実装には、書き込みプロセスの検証用の MDiags によるサポートおよびテストに加えて、BIOS イメージ マップ、INFO 番号、および MOD (プロセスをトリガするため) が必要です。	有 (BIOS)
IPv6 ITES コンプライアンスのマニュアル (米国政府の顧客に必要) IPv6 Equipment Profile コンプライアンスのマニュアル	有
承認された商用 Latitude ソフトウェア サイクル リストおよびソフトウェア機能プランに含まれるすべてのソフトウェア	有
Play Ready 3.0.	有


ソフトウェア

本章では、対応オペレーティングシステムおよびドライバのインストール方法について詳しく説明します。

トピック：

- [Windows ドライバのダウンロード](#)

Windows ドライバのダウンロード

1. の電源を入れます。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
3. [製品サポート] をクリックし、のサービス タグを入力して、[送信] をクリックします。
 **メモ:** サービス タグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いののモデルを手動で参照してください。
4. [Drivers and Downloads (ドライバーおよびダウンロード)] をクリックします。
5. お使いのにインストールされているオペレーティング システムを選択します。
6. ページをスクロール ダウンし、ドライバーを選択してインストールします。
7. [ファイルのダウンロード] をクリックして、お使いの用のドライバーをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバーファイルを保存したフォルダに移動します。
9. ドライバーファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

BIOS セットアップ

△ 注意: PC に詳しいユーザー以外は、BIOS セットアップ プログラムの設定を変更しないでください。特定の変更で PC が誤作動を起こす可能性があります。

① メモ: PC および取り付けられているデバイスによっては、本項にリスト表示されている項目の一部がない場合があります。

① メモ: BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使用します。

- RAM の容量やハード ドライブのサイズなど、PC に取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- システム設定情報の変更。
- ユーザー パスワード、取り付けられたハード ドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

トピック：

- [ブートメニュー](#)
- [BIOS の概要](#)
- [BIOS セットアッププログラムの起動](#)
- [ナビゲーションキー](#)
- [ワンタイムブートメニュー](#)
- [セットアップユーティリティのオプション](#)
- [BIOS のアップデート](#)
- [システムパスワードおよびセットアップパスワード](#)
- [BIOS \(システム セットアップ \) パスワードとシステム パスワードのクリア](#)

ブートメニュー

デルのロゴが表示されたら<F12>を押して、ワンタイムブートメニューを開始し、システムで有効になっている起動デバイスのリストを表示します。診断および BIOS セットアップのオプションもこのメニューにあります。起動メニューに表示されるデバイスは、システムでブータブルなデバイスによって異なります。このメニューは、特定のデバイスで起動を試行する場合や、システムの診断を表示する場合に便利です。起動メニューを使用しても、BIOS に保存されている起動順序は変更されません。

このオプションは次のとおりです。

- UEFI Boot :
 - ウィンドウズブートマネージャー
- 別のオプション :
 - BIOS セットアップ
 - BIOS Flash Update
 - 診断
 - Change Boot Mode Settings (起動モードの設定の変更)

BIOS の概要

BIOS はコンピュータのオペレーティングシステムとハードディスク、ビデオアダプタ、キーボード、マウス、プリンタなどの取り付けられているデバイス間のデータフローを管理します。

BIOS セットアッププログラムの起動

1. PC の電源をオンにします。
2. 直ちに F2 を押して、BIOS セットアップ プログラムを入力します。

① | メモ: キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティング システムのロゴが表示されてしまったら、デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。その後、PC の電源を切り、操作をやり直してください。

ナビゲーションキー

① | メモ: ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

表 28. ナビゲーションキー

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。 ① メモ: 標準グラフィックブラウザー用に限られます。
Esc	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

ワンタイムブートメニュー

[ワンタイムブートメニュー] を入力するには、PC の電源を入れて、すぐに F12 を押します。

① | メモ: PC がオンになっている場合は、シャットダウンすることをお勧めします。

ワンタイムブートメニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- リムーバブルドライブ (利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ (利用可能な場合)
① | メモ: XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- 光学ドライブ (利用可能な場合)
- SATA ハードドライブ (利用可能な場合)
- 診断

ブートシーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

セットアップユーティリティのオプション

① | メモ: お使いのおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目の一部がない場合があります。

一般オプション

表 29. 一般規定

オプション	説明
システム情報	以下の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> システム情報：BIOS バージョン、サービスタグ、資産タグ、購入者タグ、購入日、製造日、エクスプレスサービスコードが表示されます。 Memory Information：Memory Installed、Memory Available、Memory Speed、Memory Channel Mode、Memory Technology、DIMM A size、DIMM B size が表示されます。 プロセッサ情報：プロセッサのタイプ、コア数、プロセッサ ID、現在のクロック速度、最小クロック速度、最大クロック速度、プロセッサ L2 キャッシュ、プロセッサ L3 キャッシュ、HT 対応、および 64 ビットテクノロジーを表示します。 Device Information：Primary HDD、ODD Device、M.2 SATA SSD、M.2 PCIe SSD-0、LOM MAC Address、Video Controller、Video BIOS Version、Video Memory、Panel type、Native Resolution、Audio Controller、Wi-Fi Device、Bluetooth Device が表示されます。
Battery Information	バッテリーの正常性ステータスおよび AC アダプタが取り付けられているかどうかが表示されます。
Boot Sequence	このリスト内の指定されたデバイスからコンピュータが OS を探す順序です。
詳細起動オプション	UEFI 起動モードの場合、[Legacy Option ROMs] オプションを選択できます。デフォルトでは、どのオプションも選択されていません。 <ul style="list-style-type: none"> Enable Legacy Option ROMs Enable Attempt Legacy Boot (レガシー起動試行を有効にする)
UEFI Boot Path Security	このオプションは、F12 起動メニューから UEFI 起動パスを起動する場合に、システムがユーザーに管理者パスワードを入力するように求めるかどうかを制御します。 <ul style="list-style-type: none"> Always, Except Internal HDD — デフォルト Always (常に) なし
Date/Time	日付と時刻を設定できます。システムの日付と時刻の変更はすぐに有効になります。

システム情報

表 30. システム設定

オプション	説明
Integrated NIC	オンボード LAN コントローラーを設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> Disabled = 内蔵 LAN がオフのため、オペレーティングシステムに認識されません。 Enabled = 内蔵 LAN が有効です。 Enabled w/PXE = 内蔵 LAN が有効です (PXE 起動) (デフォルトで選択)
SATA Operation	統合ハードドライブコントローラーの動作モードを設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> Disabled (無効) = SATA コントローラーは非表示 AHCI = SATA は AHCI モード用に構成済み RAID ON = SATA は RAID モードをサポートするように構成されます (デフォルトで選択)
Drives	各種オンボードドライブを有効または無効に設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> SATA-0 (デフォルトで有効) SATA-1 (デフォルトで有効) SATA-2 (デフォルトで有効) M.2 PCIe SSD 0 (デフォルトで有効)
Smart Reporting	このフィールドでは、統合ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。[Enable Smart Reporting (スマートレポートを有効にする)] オプションはデフォルトでは無効になっています。


表 30. システム設定 (続き)

オプション	説明
USB 設定	以下のオプションについて、内蔵 USB コントローラを有効または無効に設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする) ● Enable External USB Port すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。
オーディオ	内蔵オーディオコントローラを有効または無効にすることができます。[Enable Audio (オーディオを有効にする)] オプションはデフォルトで選択されています。 <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Microphone (マイクを有効にする) ● Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする) 両方のオプションがデフォルトで選択されています。
Miscellaneous Devices	次のデバイスの有効 / 無効を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Camera (カメラを有効にする) (デフォルトで有効)

ビデオ

オプション 説明

[LCD Brightness] 電源 (バッテリおよび AC) に応じてディスプレイの輝度を設定できます。バッテリーおよび AC アダプタ用に LCD の輝度を別々に設定します。スライダを使用して設定できます。

 **メモ:** ビデオ設定はビデオカードがシステムに取り付けられている場合にのみ表示されます。

セキュリティ

表 31. セキュリティ


オプション	説明
Admin Password	管理者パスワードを設定、変更、および削除することができます。
System Password	システムパスワードを設定、変更、および削除することができます。
Strong Password	システムの強力なパスワードを有効または無効に設定することができます。
Password Configuration	管理者パスワードとシステムパスワードの最小、および最大文字数をコントロールすることができます。文字の範囲は 4 ~ 32 の間です。
Password Bypass	このオプションを選択すると、システムの再起動時、System (Boot) Password (システム (起動) パスワード) と内蔵 HDD パスワード入力のダイアログをスキップすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) — パスワードが設定されると、システムおよび内蔵 HDD パスワード入力のダイアログが表示されます。このオプションはデフォルトで有効化されています。 ● Reboot Bypass (再起動時にスキップ) — 再起動時、パスワード入力のダイアログをスキップします (ウォームブート) 。  メモ: オフの状態から電源を入れると (コールドブート)、システムはシステムパスワードと内蔵 HDD パスワードの入力を常に指示します。また、モジュールベイ HDD がある場合でも、パスワードの入力が常に指示されます。
Password Change	管理者パスワードが設定されている場合に、システムおよびハードディスクパスワードの変更を許可するかどうかを決定するオプションです。 Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワードによる変更を許可) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Non-Admin Setup Changes	管理者パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションの変更を許可するかどうかを決定します。

表 31. セキュリティ (続き)

オプション	説明
UEFI Capsule Firmware Updates	このオプションで、システムが UEFI カプセルアップデートパッケージから BIOS をアップデートできるかどうかを制御します。このオプションは、デフォルトで選択されていますこのオプションを無効にすると、Microsoft Windows Update や Linux Vendor Firmware Service (LVFS) のようなサービスからの BIOS のアップデートをブロックします。
TPM 2.0 Security	TPM(Trusted Platform Module) をオペレーティングシステムが認識できるかどうかを制御することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● TPM On (デフォルト) ● Clear (クリア) ● 有効なコマンドの PPI をスキップ ● 無効なコマンドの PPI をスキップ ● PPI Bypass for Clear Commands ● 有効な証明書 (デフォルト) ● 有効なキーストレージ (デフォルト) ● SHA-256 (デフォルト) いずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) ● Enabled (有効) (デフォルト)
Computrace(R)	オプションの Absolute Software 社製 Computrace サービスの BIOS モジュールインタフェースをアクティベートまたは無効に設定することができます。資産管理用に設計されているオプションの Computrace サービスを有効または無効にします。 <ul style="list-style-type: none"> ● Deactivate (非アクティブ) ● Disable (無効) ● Activate - このオプションはデフォルトで選択されています。
OROM Keyboard Access	このオプションで、起動時にホットキーを使用して [Option ROM Configuration] 画面を表示させるかどうかを決定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● Enabled (有効) (デフォルト) ● Disabled (無効) ● One Time Enable (1 回のみ有効)
Admin Setup Lockout	管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップの起動を防止することができます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
Master Password Lockout	マスターパスワードサポートを無効にできます。この設定を変更する前には、ハードディスクパスワードをクリアする必要があります。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
SMM Security Mitigation	追加の UEFI SMM セキュリティの軽減による保護を有効/無効にできます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

Secure Boot (安全起動)

表 32. 安全起動

オプション	説明
Secure Boot Enable	安全起動機能を有効または無効にできます。 <ul style="list-style-type: none"> ● Secure Boot Enable このオプションは、デフォルトで選択されています
Secure Boot Mode	セキュアブートの動作を変更し、UEFI ドライバ署名の評価または実施を許可できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● デプロイモード (デフォルト) ● 監査モード

表 32. 安全起動 (続き)

オプション	説明
Expert key Management	<p>システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。 Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする) オプションはデフォルトでは無効になっています。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● PK (デフォルト) ● KEK ● db ● dbx <p>Custom Mode (カスタムモード) を有効にすると、 PK、KEK、db、および dbx の関連オプションが表示されます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Save to File (ファイルに保存) - ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。 ● Replace from File (ファイルから交換) - 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと交換します。 ● Append from File (ファイルから追加) - ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。 ● Delete (削除) - 選択したキーを削除します。 ● Reset All Keys (すべてのキーをリセット) - デフォルト設定にリセットします。 ● Delete All Keys (すべてのキーを削除) - すべてのキーを削除します。 <p>①メモ: Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。</p>

インテルソフトウェア ガード エクステンションズ

表 33. インテルソフトウェア ガード エクステンションズ

オプション	説明
[Intel SGX Enable]	<p>このフィールドでは、メイン OS のコンテキストでコードの実行や、機密情報の保管を行うためのセキュアな環境を設定します。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [無効] ● [有効] ● [ソフトウェア制御 (デフォルト)]
[エンクレープメモリサイズ]	<p>このオプションで、[SGX エンクレープブリザーブメモリサイズ] を設定します。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [32 MB] ● [64 MB] ● [128 MB] (デフォルト)

パフォーマンス

表 34. パフォーマンス

オプション	説明
[Multi Core Support]	<p>このフィールドでは、プロセスで1つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [All] — デフォルト ● [1]

表 34. パフォーマンス (続き)

オプション	説明
[Intel SpeedStep]	プロセッサの Intel SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする)] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[C-States Control]	プロセッサのスリープ状態を追加で有効または無効に設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [C States] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[Intel TurboBoost]	プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Intel TurboBoost (Intel TurboBoost を有効にする)] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[Hyper-Thread Control]	ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Disabled (無効)] • [Enabled] — デフォルト

電力管理

オプション

説明

[AC Behavior] AC アダプタが接続されるとコンピュータの電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。

デフォルト設定 : Wake on AC (ウェイクオン AC) は選択されていません。

Enable Intel Speed Shift Technology

- Enable Intel Speed Shift Technology

デフォルト設定 : Enabled (有効)

[Auto On Time]

コンピュータを自動的に電源オンにする必要のある時刻を設定できます。オプションは次のとおりです。

- Disabled (無効)
- Every Day (毎日)
- Weekdays (平日)
- Select Days (選択した日)

デフォルト設定 : Disabled (無効)

[USB Wake Support]

USB デバイスをシステムに接続するとスタンバイモードからウェイクするように設定できます。

メモ: この機能は、AC 電源アダプタを接続している場合のみ有効になります。待機状態で AC 電源アダプタを取り外すと、セットアップユーティリティはバッテリーの電力を節約するため、すべての USB ポートへの電力供給を停止します。

- Enable USB Wake Support (USB ウェイクサポートを有効にする)

[Wake on WLAN(ウェイクオン WLAN)]

LAN 信号によってトリガーされた時にコンピュータをオフ状態からオンにする機能を有効または無効にすることができます。

- Disabled (無効)
- WLAN

デフォルト設定 : Disabled (無効)

[Peak Shift]

このオプションでは、ピーク時の AC 電源消費を最小限に抑えることができます。このオプションを有効にすると、システムは AC に接続されている場合でもバッテリーのみで動作します。

オプション	説明
[Advanced Battery Charge Configuration]	<ul style="list-style-type: none"> ● Enable peak shift - 無効になっています ● Set Battery Threshold (バッテリしきい値の設定) (15 ~ 100 %) - 15 % (デフォルトで有効) <p>このオプションでは、バッテリー性能を最大限に高めることができます。このオプションを有効にすることで、標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を高めます。</p> <p>Enable Advanced Battery Charge Mode - 無効になっています</p>
[Primary Battery Charge Configuration]	<p>バッテリーの充電モードを選択することができます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Adaptive (適応) — デフォルトで有効 ● Standard (標準) — 標準速度でバッテリーをフル充電します。 ● ExpressCharge (高速充電) — デルの高速充電テクノロジーを使って、より短い時間でバッテリーを充電できます。 ● Primarily AC use (主に AC を使用) ● カスタム <p>Custom Charge (カスタム充電) が選択されている場合は、Custom Charge Start (カスタム充電開始) と Custom Charge Stop (カスタム充電停止) も設定できます。</p> <p>メモ: バッテリーによっては、一部の充電モードが使用できない場合もあります。このオプションを有効にするには、[Advanced Battery Charge Configuration (高度なバッテリー充電設定)] オプションを無効にする必要があります。</p>

POST Behavior (POST 動作)

オプション	説明
[Adapter Warnings]	<p>特定の電源アダプタを使用する場合に、セットアップユーティリティ (BIOS) の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable Adapter Warnings (アダプタ警告を有効にする)。</p>
[Numlock Enable]	<p>コンピュータの起動時に Numlock オプションを有効にすることができます。</p> <p>Enable Network (ネットワークを有効にする)。このオプションはデフォルトで有効化されています。</p>
[Fn Lock Options]	<p>ホットキーの組み合わせ <Fn>+<Esc> で、F1 ~ F12 のプライマリ動作を標準機能と二次機能との間で切り替えることができます。このオプションを無効にすると、これらのキーのプライマリ動作を動的に切り替えることはできません。使用可能なオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Fn Lock (Fn ロック) — デフォルトで有効に設定されています。 ● ロックモード無効 / 標準 - デフォルトで有効 ● ロックモード有効 / セカンダリ
Fastboot	<p>一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化できます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Minimal — デフォルトで有効 ● Thorough (完全) ● 自動
[Extended BIOS POST Time]	<p>プレブート遅延を追加で作成することができます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 0 秒 - デフォルトで有効です ● 5 秒 ● 10 秒
Full Screen Log	<ul style="list-style-type: none"> ● 全画面のログを有効にする - 有効になっていません
Warnings and Errors	<ul style="list-style-type: none"> ● 警告およびエラー時のプロンプト - デフォルトで有効です ● 警告時に続行 ● 警告およびエラー時に続行します
Sign of Life Indication (ライフ	<ul style="list-style-type: none"> ● Enable Sign of Life Keyboard Backlight Indication — デフォルトで有効


オプション	説明
インジケータの信号)	

Virtualization Support (仮想化サポート)

オプション	説明
Virtualization	このフィールドでは、Intel Virtualization テクノロジーが提供する条件付きのハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。 Enable Intel Virtualization Technology - デフォルトで有効に設定されています。
[VT for Direct I/O]	ダイレクト I/O 用に Intel® Virtualization テクノロジーによって提供される付加的なハードウェア機能を仮想マシンモニター (VMM) が利用するかどうかを指定します。 Enable VT for Direct I/O (ダイレクト I/O 用 VT を有効にする) — デフォルトで有効に設定されています。
[Trusted Execution]	このオプションでは、Intel Trusted Execution テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を MVM (Measured Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。この機能を使用するには、TPM 仮想化テクノロジーとダイレクト I/O 用仮想化テクノロジーを有効にする必要があります。 Trusted Execution — デフォルトで無効に設定されています。

ワイヤレス

オプションの説明

[Wireless Switch]	ワイヤレススイッチで制御できるワイヤレスデバイスを設定することができます。このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • WLAN • Bluetooth すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。  メモ: WLAN の場合、有効/無効の制御は連結されているため、個別に有効または無効にすることはできません。
[Wireless Device Enable]	内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • WLAN • Bluetooth すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。

メンテナンス画面

オプション	説明
[Service Tag]	お使いのコンピュータのサービスタグが表示されます。
[Asset Tag]	Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成できます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
[BIOS Downgrade]	ここで、システムファームウェアの以前のリビジョンへのフラッシングを制御します。「Allow BIOS downgrade (BIOS のダウングレードを許可)」オプションは、デフォルトで有効に設定されています。
[Data Wipe]	このフィールドでは、すべての内蔵ストレージデバイスからデータを安全に消去するかどうかを制御できます。「Wipe on Next boot (次回起動時に消去)」オプションは、デフォルトで有効に設定されていません。次に、対象となるデバイスのリストを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 内蔵 SATA HDD/SSD

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ● 内蔵 M.2 SATA SSD ● 内蔵 M.2 PCIe SSD ● Internal eMMC
[BIOS Recovery]	<p>このフィールドで、ユーザーのプライマリハードドライブまたは外付け USB キーのリカバリファイルから特定の破損した BIOS 状況をリカバリできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● BIOS Recovery from Hard Drive (ハードドライブからの BIOS のリカバリ) — デフォルトで有効に設定されています。 ● Always perform integrity check (常に整合性チェックを実行) — デフォルトで無効に設定されています。

システムログ

オプション	説明
[BIOS Events]	セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。
[Thermal Events]	セットアップユーティリティ (Thermal) のイベントを表示またはクリアすることができます。
[Power Events]	セットアップユーティリティ (Power) のイベントを表示またはクリアすることができます。

SupportAssist システムの解決策

オプション	説明
[Auto OS Recovery Threshold]	<p>SupportAssist システムの自動ブートフローを制御することができます。オプションは、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 消灯 ● 1 ● 2 (デフォルトで有効) ● 3
[SupportAssist OS Recovery]	SupportAssist OS Recovery によりリカバリすることができます (デフォルトでは無効に設定されています)

BIOS のアップデート

Windows での BIOS のアップデート

△ 注意: BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この問題の詳細については、次のナレッジベース記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

1. www.dell.com/support にアクセスします。
2. [製品名] をクリックします。[検索サポート] ボックスでお使いの PC のサービス タグを入力し、[検索] をクリックします。
 - i メモ:** サービス タグがない場合は、SupportAssist 機能を使用して、お使いの PC を自動で確認してください。製品 ID を使用するか、お使いの PC のモデルを手動で参照することもできます。
3. [Drivers & Downloads] (ドライバおよびダウンロード) をクリックします。[ドライバーの検索] を展開します。
4. お使いのコンピュータにインストールされているオペレーティング システムを選択します。
5. [カテゴリー] ドロップダウン リストで [BIOS] を選択します。
6. 最新の BIOS バージョンを選択して [ダウンロード] をクリックし、お使いの PC 用の BIOS ファイルをダウンロードします。
7. ダウンロードが完了したら、BIOS アップデート ファイルを保存したフォルダーを参照します。

- BIOS アップデート ファイルのアイコンをダブルクリックし、画面に表示される指示に従います。
詳細については、www.dell.com/support でナレッジ ベース記事 000124211 を参照してください。

Linux および Ubuntu での BIOS のアップデート

Linux または Ubuntu がインストールされている PC のシステム BIOS をアップデートするには、www.dell.com/support にあるナレッジ ベース記事 000131486 を参照してください。

Windows の USB ドライブを使用した BIOS のアップデート

注意: BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この問題の詳細については、次のナレッジベース記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

- 「[Windows での BIOS のアップデート](#)」にある手順 1~6 に従って、最新の BIOS セットアップ プログラム ファイルをダウンロードします。
- 起動可能な USB ドライブを作成します。詳細については、www.dell.com/support でナレッジ ベース記事 000145519 を参照してください。
- BIOS セットアップ プログラム ファイルを起動可能な USB ドライブにコピーします。
- 起動可能な USB ドライブを BIOS のアップデートを必要とするコンピューターに接続します。
- PC を再起動し、**F12** を押します。
- ワンタイムブートメニュー**から USB ドライブを選択します。
- BIOS セットアップ プログラムのファイル名を入力し、**Enter** を押します。
BIOS アップデート ユーティリティが表示されます。
- 画面の指示に従って BIOS のアップデートを完了します。

F12 ワンタイムブートメニューからの BIOS のアップデート

FAT32 USB ドライブにコピーされた BIOS update.exe ファイルを使用して PC の BIOS をアップデートし、F12 ワンタイムブートメニューから起動します。

注意: BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この問題の詳細については、次のナレッジベース記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

BIOS のアップデート

ブータブル USB ドライブを使用して Windows から BIOS アップデート ファイルを実行するか、PC の F12 ワンタイムブートメニューから BIOS をアップデートできます。

2012 年より後に構築されたほとんどの Dell 製 PC にはこの機能があり、PC を F12 ワンタイムブートメニューで起動することにより、PC のブート オプションとして [BIOS フラッシュ アップデート] がリストされていることを確認できます。このオプションがリストされている場合、BIOS はこの BIOS アップデート オプションをサポートします。

メモ: F12 ワンタイムブートメニューに [BIOS フラッシュ アップデート] オプションがある PC でのみ、この機能を使用できます。

ワンタイムブートメニューからのアップデート

F12 ワンタイムブートメニューから BIOS をアップデートするには、次のものがが必要です。

- FAT32 ファイルシステムにフォーマットされた USB ドライブ (キーはブータブルでなくてもよい)
- Dell サポート用 Web サイトからダウンロードして、USB ドライブの root にコピーした BIOS 実行可能ファイル
- PC に接続された AC 電源アダプター
- BIOS をフラッシュする動作可能な PC バッテリー

F12 メニューから BIOS アップデートフラッシュプロセスを実行するには、次の手順を実行します。

△注意: BIOS のアップデートプロセス中に PC の電源をオフにしないでください。PC の電源をオフにすると、PC が起動しない場合があります。

1. 電源オフの状態から、フラッシュをコピーした USB ドライブを PC の USB ポートに挿入します。
2. PC の電源をオンにして F12 を押し、ワンタイム ブート メニューにアクセスした後、マウスまたは矢印キーを使用して [BIOS アップデート] を選択し、Enter を押します。
フラッシュ BIOS メニューが表示されます。
3. [[ファイルからフラッシュ]] をクリックします。
4. 外部 USB デバイスを選択します。
5. ファイルを選択してフラッシュターゲットファイルをダブルクリックした後、[送信] をクリックします。
6. [BIOS のアップデート] をクリックします。PC が再起動して、BIOS をフラッシュします。
7. BIOS のアップデートが完了すると、PC が再起動します。

システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 35. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログインする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

△注意: パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

△注意: PC をロックせずに放置すると、PC 上のデータにアクセスされる可能性があります。

①メモ: システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システム セットアップパスワードの割り当て

ステータスが未設定の場合のみ、新しいシステムパスワードまたは管理者パスワードを割り当てることができます。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F12 を押します。

1. [システム BIOS]画面または[システム セットアップ]画面で[セキュリティ]を選択し、Enter を押します。
[セキュリティ]画面が表示されます。
2. [システム/管理者パスワード]を選択し、[新しいパスワードを入力]フィールドでパスワードを作成します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 少なくとも 1 個の特殊文字： ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { | }
 - 0~9 の数字。
 - A~Z の大文字。
 - a~z の小文字。
3. **新しいパスワードの確認**フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
4. Esc を押し、ポップアップ メッセージの指示に従って変更を保存します。
5. Y を押して変更を保存します。
PC が再起動されます。

既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更

既存のシステム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、[パスワード ステータス] が (システム セットアップで) ロック解除になっていることを確認します。パスワード ステータスがロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F12 を押します。

1. [システム BIOS]画面または[システム セットアップ]画面で、[システム セキュリティ]を選択し、Enter を押します。
System Security (システムセキュリティ) 画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスがロック解除に設定されていることを確認します。
3. [システム パスワード]を選択し、既存のシステム パスワードをアップデートまたは削除して、Enter または Tab を押します。
4. [セットアップ パスワード]を選択し、既存のセットアップ パスワードをアップデートまたは削除して、Enter または Tab を押します。
① メモ: システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。
5. Esc を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. Y を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。
PC が再起動されます。

BIOS (システム セットアップ) パスワードとシステム パスワードのクリア

システムまたは BIOS パスワードをクリアするには、Dell テクニカル サポート (www.dell.com/contactdell) にお問い合わせください。

- ① **メモ:** Windows またはアプリケーションのパスワードをリセットする方法については、Windows またはお使いのアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

トピック：

- [デルへのお問い合わせ](#)

デルへのお問い合わせ

① **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **Dell.com/support** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある [国 / 地域の選択] ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。